

いつも熊本日日新聞をご愛読いただきありがとうございます

今回の表面には、金婚式を迎えられたご夫婦を紹介します。今月6日に「熊日金婚夫婦表彰式」が各町村で開催されました。多良木町で24組、あさぎり町岡原地区で5組、湯前町で6組、水上村で5組でした。金婚、誠にめでたうございます。



編集・発行
熊日多良木販売センター
球磨郡多良木町大字多良木 356-1
TEL 42-3355 FAX 49-1726
http://www.taragi.com/
熊日湯前販売センター
球磨郡湯前町中里 1830 TEL 43-2151
代)小出堅太郎 石田敏郎 那須信一
編集：岩水由香
球磨んタイムズは当社ホームページでもご覧頂けます。また facebook ではコーナーごとに掲載中。「熊日多良木販売センター」を検索して下さい。

第61回熊日金婚夫婦表彰式 苦楽ともに50年たたえる



あさぎり町岡原北
小島 宅雄さん りつ子さん

ご結婚当初からイ草農家として頑張っておられた小島さん夫妻です。ご夫婦手を取り合って、二町六反ものイ草を栽培し、家族を支えられてきました。中国からの安いイ草製品の普及後は、イチゴ農家へ転身。現在も継続して栽培されています。そんな小島さん夫妻、これまでの結婚生活一度の喧嘩もなく、また大きな病気もなく過ごされてきました。特に奥様のりつ子さんの家族に対する健康管理には、ご主人の宅雄さんも大変感謝されていました。「今があるのは妻のおかげ。食事の栄養バランスなど気がきく妻です」と太鼓判。「これからも、お互い健康により一層気をつけて、一日一日を大事に過ごしていきたい」と話されていました。体あっての仕事。夫婦助け合っていつまでも仲良く、健康に過ごしていけるように願う小島さん夫妻でした。



水上村岩野
那須 剛さん
久子さん

剛さんは教師になるという希望を実現させるために、病を乗り越え大学に進学された後、熊本工業大学高校（現・文徳高校）にお勤めになられました。その後両親が郵便局にお勤めされていたこともあり、郵政省に入省。五家荘、城南町、博多、古屋敷と各地に赴任しご活躍。平成19年に湯前郵便局長として退職されました。一方久子さんは和歌山県のご出身。大学在学時に剛さんと出会い、その後結婚。2男1女に恵まれました。結婚当初は専業主婦として、家庭を盛り立てておられましたが、水上村にいられてから教員免許を活かし、球磨農業高校（現・南稜高校）で書道の講師として勤められました。その後は民生委員や生涯学習教室の講師として、地域のために頑張っておられました。これまで世に言う贅沢ということはしてきていないけれども、山女釣りや球磨川水源までの散策など、アウトドア好きで、親子で共通の楽しみを持てたことは良かったと仰います。その他剛さんは日曜大工に油絵、久子さんは俳句やゴルフなど様々な趣味や特技をそれぞれお持ちですが、おふたり揃って毎週火曜日に岩野小で行う絵本の読み聞かせと、様々な野菜の栽培を、楽しみながら取り組まれています。

多良木町黒肥地
緒方 昌美さん 征枝さん

役場に就職できたことが一番良かった。昌美さんのお父さんが59才で亡くなられ、その時昌美さんは19才でした。それから間もないある日、近所の方から「役場に入らんや」と言われたのがきっかけで多良木町役場に就職されました。27才のときに征枝さんの知り合いの方の紹介でお見合いされ2、3回のデートで意気投合、お見合いから3ヵ月ほどで結婚されました。新婚旅行はノープランで宮崎に行かれたそうですが「タクシーは相乗り、夕食の場では店主と客の喧嘩、ホテルでは風呂のお湯が出ない」などのトラブル続きだったそうです。その後、征枝さんは3人の子育てをしながら調理師と保育士の免許をとり、黒肥地保育園の保育士になられました。昌美さんはスポーツマンで、テニスは県大会に出場するほどの腕前、ビーチボールバレーではエースとして、今では夫婦でグラウンドゴルフを楽しんでおられます。征枝さんは46才でお母さんの介護の為保育園を退職されましたが、若いときは厳しかった母も一番の理解者だったと話されていました。今は老人会の女性部長や、ボランティアグループ菜の花の副会長など、数多くの役員として頑張っておられます。今後ご夫婦は体調を整え、二人で助け合い地域貢献しながら、好きな温泉旅行でも楽しみたいそうです。こういった生活ができるのも役場に入ったからと感謝されていました。



湯前町上里
赤池 精一郎さん
クミ子さん

農業一筋で生涯現役と意気込む赤池さん夫妻。メロン・米・麦などを栽培。お互いを尊重しあい、二人三脚で結婚50年を歩んでおられました。色んな苦労もあったそうですが、家族に支えられ、地域の方々に支えられこれまでを過ごされてきました。50年の歩みを一言「感謝」でしかない。と精一郎さん。今後の人生も、「感謝の気持ちを忘れず、何事にも取り組みたい」と話されていました。そんなお二人の一番の思い出は、還暦のお祝いに子供さん達からの北海道旅行。自然豊かな地が大好きな御主人も大喜び。知床半島など道東の旅を満喫されました。子供さん達からのサプライズに「感謝・感謝」。奥様のクミ子さんも「主人に支えられ地域に支えられ本当に感謝しかありません」。これからは「一日一日を大切に、家族の幸せを願い過ごしていきたい」と御夫婦。また、鹿児島県奄美にお住まいのお孫さんに会いに行く日を楽しみにされています。自然を愛し感謝の意を忘れない素晴らしい赤池さん夫妻でした。

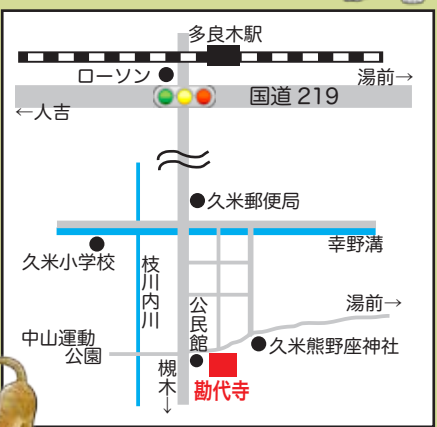


球磨ん文化財巡り NO.51



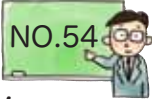
多良木町指定有形文化財 吉祥院の板碑二基

勤代寺の境内にあり、「猫寺騒動」の普門寺5世住職盛誉法院ならびに、その母玖月善女の板碑です。
一号の板碑には、正面中央部に、胎藏界大日如来の種子（ア）下に「奉為権大僧都法印盛誉菩提」その右側に「天正十歳壬午」左側に「三月十六日」と刻んであります。また、二号の板碑には、正面中央部に、金剛界大日如来の種子（バン）その下に「奉為玖月善女大姉菩提」右に「天正十歳壬午」左に「四月十八日」と刻んであります。
石質は二基とも砂岩です。



次のページへどうぞ

新聞記事を楽しむ!



～三人にお会いしたい気持ち～

きょうは13日、十五夜。朝から縁側に、すすき、彼岸花を生け、さと芋、から芋、柿、栗を柀に入れ、小皿に月見だんごを乗せ、お盆に盛り付けてお供えた。そして、庭に咲く白い彼岸花をゆっくり眺めていると、今読み続けている「巨眼の男、西郷隆盛」のこともあってか、奄美大島で命あふれる絵を描き続けた画家が思い浮かんだ。それは、「奄美大島にあったハンセン病のひとが入院する病院に、むらり入院させられた少女が、入院した日、お母さんは『いつもおまえのことを思っている』と一枚の写真を渡した。少女はポケットにその写真を入れ、いつも身体から離さなかった。寂しくなると少女は、写真を取り出し話しかけていた。そして、『ほら、もうお母さんの顔が、よくわからなくなると、少女は古くなり、黄ばみ、手あかで汚れた写真を画家に見せた。画家は『ぼくにこの写真を、貸してくれない』と笑い、いいことを思いついた。画家はこの写真をみながら、お母さんの絵を描いた。少女は病院の玄関に立ち、家が来るのを待ち続けた。数日後、画家は少女が高い熱で眠り続けた横で、『ほら、約束どおりできたよ』と少女の目の前にかざした。少女は、ベッドの横に立っている画家に、『ありがとう』といった。奄美大島で紬の泥染めの仕事や大工仕事をしながら、ひたすら自分の描きたい絵を描きつづけた画家、【アダン】の画帖】の田中一村。また、奄美大島の龍郷村で西郷隆盛と暮らした妻、一家3人のなごやかな明け暮れをよろこびつつ、吉之助(隆盛)がいつか鹿児島に呼び戻される日がくるのを、覚悟していた。彼女は毎朝、吉之助の髪をくしけずり、鬘をととのえてやる。そのとき抜ける頭髪を集め置き、その毛玉は吉之助の形見として残していた愛加那。お母さんに、少女に、家族に愛を届け続けたつつましい三人に、お会いしたい気持ちがこみ上げてきた。しばらくして、「十五夜の朝刊」を手にして読んだ。

(原稿提供: 南稜高校 川北禎一先生)

くまてつまつり2019協賛企画
ゆのまえ田園マルシェ
YUNOMAE DENEN MARCHE
2019.9.28(土) 10:00~17:00
湯前レールウィング 展示体験施設

くま川鉄道の「くまてつまつり」(9月28日と29日)の開催に伴い、協賛イベントとしてゆのまえ田園マルシェを開催いたします! みなさまのご来場お待ちしております!

ワンコインマルシェ開催!
28日はワンコイン(500円)でワークショップやサービスを受けることができます!

28日、29日はワンコインでくま鉄乗り放題!
大人 500円
小人 100円
9/1~販売開始

ハーバリウム体験やキッズネイル、オリジナルコースター作りなど大人も子どもも楽しめるワークショップやサービスがあります! 出店店舗の詳細は順次SNSで公開!

マンガやイラストを描くのが好きな方大歓迎!
プロに学ぶ! 村枝賢一先生 & 森真理先生
10/5(土) 13:30~

マンガ体験教室

『湯前まちめぐりツアー』同日開催!!

プロのマンガ家である2人を迎え、湯前駅周辺レールウィング 展示体験施設にて開催いたします!!
周辺のレストランやカフェ、まんが美術館など見どころいっぱい!!
ご希望の方には「湯前まちめぐりツアー」もあり、湯前駅を存分に堪能できます!!

村枝賢一先生 代表作 『映画ライダーSPRITS』 『光臨館』 『鴨たちのフィールド』
森真理先生 代表作 『獣のしっぽ』 『なんとなくプリン』

【お問合せ先】湯前まんが図書館 ☎43-4888

【お問合せ先】奥球磨スマートタウン研究所 担当: 森田 ☎43-4888

多良木警察署だより

「ひのくにピカピカ運動」の実施について

【実施期間】令和元年10月10日(木) ~ 令和2年1月31日(金) までの間

運動の初日である10月10日は点灯の日です。午後5時には点灯しましょう。

○ 推進事項

- 1 反射材の活用
夜間に外出するときは、反射材を活用すると共に明るい服装に心掛け、ドライバーから目立つようにしましょう。
- 2 前照灯の早めの点灯と上向き点灯の励行
夕暮れ時には、意識して前照灯を早めに点灯し、自車の存在を周囲に知らせましょう。
(自転車も前照灯を早めに点灯し、自車の存在を周囲に知らせましょう。また、少しでも暗いと感じたら前照灯を点灯しましょう)
- 前照灯の早めの点灯「目安」
午後5時を目安に、前照灯の早め点灯に努める。
※雨天、霧等の条件下では、昼間でも前照灯を点灯しましょう。
- 前照灯について
前照灯は上向きが基本であり、前照灯の下向きは「すれ違い用前照灯」であり、対向車との離合や前者がいけないなど支障がない時は、原則は「上向き点灯」にして、運転しましょう。

(原稿提供: 多良木警察署)

次回の発行日は10月12日(土)予定です。お楽しみに!!

「くましえん祭」のお知らせ

10月13日(日)に球磨支援学校にて「くましえん祭」を開催いたします。時間は9時30分から14時30分までの予定です。

祭当日、小学部は、「おいでよ! くましえんパーク」と題して、ゲームコーナーを設けて祭を盛り上げます。中学部紙工班は、年賀状やカレンダー等の和紙製品を販売します。高等部の農園芸班は花苗や寄せ植え、窯業班は皿や茶碗、湯飲み、工芸班はフェルトを使ったミニポーチや干支の置物、木工班はイスや収納ボックスなど、様々な手作り製品の販売をします。

ステージの部では、本校児童生徒(小学部・中学部・高等部)やステージ賛助団体による合奏やダンス、ハーモニカ演奏等楽しい発表を計画しています。

他にも、PTAや食バザー賛助団体からのカレーやパン、惣菜などの販売、会場を回りながら行うスタンプラリーや抽選会もあります。

皆様、是非おこしください。詳しくは、本校ホームページ(「球磨支援学校」と検索)をご覧ください。



(原稿・写真提供: 球磨支援学校)

暖談なあ

びすま。多良木町の「あ」といふ字は、多良木町の歴史を語る上で欠かせない。その歴史をたどると、多良木町の発展を支えてきた人々の姿が目に浮かぶ。彼らは、多良木町の発展のために、一生懸命に努力した。その姿は、多良木町の歴史を語る上で欠かせない。その歴史をたどると、多良木町の発展を支えてきた人々の姿が目に浮かぶ。彼らは、多良木町の発展のために、一生懸命に努力した。その姿は、多良木町の歴史を語る上で欠かせない。その歴史をたどると、多良木町の発展を支えてきた人々の姿が目に浮かぶ。彼らは、多良木町の発展のために、一生懸命に努力した。その姿は、多良木町の歴史を語る上で欠かせない。